

平成29年度 夢走祭

ご来場ありがとうございました!



夢走祭 来場者数 1,000人を突破!

9月16日、ホンダテクニカルカレッジ関東で夢走祭(むそうさい)が開催されました。
今年の夢走祭は、ふじみ野市や近隣にお住まいの皆さまに対し、日頃の感謝の意を込め、ご家族の皆さまに楽しんでいただけるイベントを企画いたしました。イベント実行委員の皆さまの努力の甲斐もあり、来場者数は1,000人を突破しました。昨年をはるかに上回るお客様が来校されました。

- ①滅多に見られないNSXは若い方やお父さんの注目を集めました。
- ②ピット工房では小さなお子様が登場作業にチャレンジ。
- ③今年には新たにホンダセンシングパーチャル体験も実施。
- ④お父さんも手伝って子供とN-WGNのタイヤ交換。
- ⑤新しいエネルギーに触れる水素体験教室にクラリティが登場。
- ⑥水素で動くミニカーの製作はお父さんも興味津々でした。
- ⑦将来はGPライダーに?! キッズバイク教室には長い列が。

Event

創立40周年同窓会

— ホンダ テクニカル カレッジ 関東 —

今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。



9月26日(火)、川越プリンスホテルにて創立40周年同窓会を開催し、全国より342名の卒業生と教員(OB)22名が出席されました。懇親会では同級生や先生方とのご歓談が弾み、短い時間ではありましたが楽しいひと時を過ごして頂くことができました。また同窓会より、クラブ活動で使用するトラック等の寄付を頂けることになり、卒業しても尚学園の発展の為にご支援を頂き、本当にありがとうございます。ご来場ありがとうございました。



①1期生から40期生まで全国から342名の卒業生にお集まりいただきました。②総会の様子。新しいトラックをご寄付いただけることになりました。③同窓会の皆さまへ挨拶を述べる池田校長。④大先輩の1期生・2期生の皆さま。⑤今年卒業した40期生の皆さま。

技術コンクール

Technical competition

10月18日(水)、ホンダテクニカルカレッジ関東で、第37回ホンダ四輪サービス技術コンクール全国大会が行なわれました。お客様のご期待に応え続けるという強い気持ちと志を持つ、サービスエンジニアとサービスフロントが、積み上げた経験と磨き上げた技術を出し切って頂点を目指しました。全国から集まった精鋭たちの中に、ホンダ学園を卒業した先輩方の姿もありました。学園の後輩達に磨き上げた技術を見せてくれました。



- フロントアドバイザーコース 優秀賞
Honda Cars 北陸/福井南 坂口 浩さん
- サービスエンジニアコース 最優秀賞
Honda Cars 東京中央 高波 俊輔さん
- サービスエンジニアコース 優秀賞
Honda Cars 福井 古川 俊さん
- サービスエンジニアコース 優秀賞
Honda Cars 東京中央 藤田 祐也さん
- サービスエンジニアコース 優秀賞
Honda Cars 東京中央 田中 直樹さん

素晴らしい成績を残された先輩方

市民大学ふじみ野 キッズメカニック体験



8月1日(火)、キッズメカニック体験を開催いたしました。平成29年度市民大学ふじみ野特別公開講座の力リキユラムで、小学生・中学生の皆さんがホンダ学園に来校し、自動車や小型エンジンの整備作業に挑戦しました。自動車の整備作業では、駆動方式やエンジンの仕組みを座学で学習し、点検作業を体験してもらいました。また、中学生の皆さんには小型エンジンの整備作業を体験して頂き、分解しながらエンジンの仕組みを学びました。先生や学生に手伝ってもらいながら、一生懸命作業に取り組んでいました。

第2回 スポーツ大会

— 白熱した試合になりました —



- | | | | |
|----|---------|----|---------|
| 優勝 | 研究科4年1組 | 優勝 | 自整科2年4組 |
| 2位 | 研究科4年2組 | 優勝 | 研究科2年1組 |
| 3位 | 研究科3年1組 | 3位 | 自整科1年1組 |
| 4位 | 研究科2年1組 | 4位 | 研究科4年1組 |
| 5位 | 開発科2年1組 | 5位 | 研究科4年2組 |



本田宗一郎杯 Honda エコ マイレージ チャレンジ2017 第37回 全国大会

9月30日から10月1日にかけて、Honda エコマイレージチャレンジ2017全国大会がツインリンクもてぎ(栃木県)で開催されました。グループⅢに2台体制で出走、12位・13位を獲得し完走することができました(出走74台完走45台)。1号車の燃費は91.1768km/lを記録。練習走行では101.078km/lを記録しておりますが、決勝では本来の性能を発揮することができずに13位。一方、新型の2号車が12位という結果に終わりました。新型の2号車は6月のもてぎ大会から順調に燃費が改善されており、98.1791km/lを記録しました。学生が熱心に作り込んだ車両は性能が向上し、取り組んできたことの成果があらわれました。また1号車の燃費性能も非常に高いことも練習走行から明らかになり、来年の大会に向けて期待が高まります。



赤いラインが特徴の新型2号車。6月大会よりも燃費が改善。



地熱と日光に挟まれ、ドライバーは過酷な暑さと戦います。

15th Formula competition 第15回 全日本学生フォーミュラ大会 28位完走!!



9月5日から9月9日にかけて、静岡県小笠山総合運動公園エコパで第15回全日本学生フォーミュラ大会が開催され、「フォーミュラ SAE部」が出場しました。今年は総合28位/94台で完走し、最軽量化賞(ICV)で2位を受賞しました。昨年の総合64位より大幅に順位を上げることができ、部員の皆さんにとっても納得のいく成果だったのではないのでしょうか。長い月日を費やして実績を残しましたね。本当におめでとうございませう! 少しでもお疲れ様でした! 当校では、学科に関わらず、モノづくりに興味を持つ学生が「フォーミュラSAE部」に集い、大会に挑戦しています。過去最高の成績は総合11位、最軽量化賞1位受賞です。部員の皆さんはさらに上位を目指し、すでに来年のマシン製作も始まっています。引き続き応援をよろしくお願いいたします。

レースが好きだ! Honda Gakuen Racing

ミニバイク部として今年3戦目となる耐久レース。7月30日(日)にスポーツランドSUGOで行われた6時間耐久に初挑戦しました。アップダウンのあるサーキットで、しかも天候は雨。レース中いくつかのマシントラブルが発生し、ピットインを繰り返しました。しかしリタイアと言わずに完走しました。部員の皆さんはマシンを修復すると再びコースに復帰し周回を重ねていきました。最後は55位/68台でチェッカーを受け、無事完走することが出来ました。



次回は11月のツインリンクもてぎです。応援よろしくお願いします。

ミニバイク部 スポーツランドSUGO 6時間耐久



モータースポーツ部 FIT 1.5 チャレンジカップ



7月30日(日)、ツインリンクもてぎ(栃木県)で開催された「FIT 1.5チャレンジカップ第5戦」にモータースポーツ部が参戦しました。リザルトはクラス3位。第4戦に続いて今回も表彰台に上がることができました。学生サポートメンバーの活躍があったからこそ2戦連続で嬉しい結果を得ることができました。車検の直前に部品の破損が見つかり、さらに車両にも不具合が発見されたが、学生サポートメンバーの的確な作業のおかげで車検は無事通過。整備作業はとて丁寧で、ドライバーは安心してレースに集中することができました。



写真左: 第5戦サポートメンバー、藤村君、小山君、戸村君、吉村君、西野君
写真右: 第4戦サポートメンバー、藤村君、今川君、植木君、塩川君

自動車整備部 浅間火山耐久シリーズ 第3戦



①クラス2位で完走。目標周回数100周もクリア。②参加車両は教材だったHonda Lifeをレース仕様に変更したもの。学生の手作りです。③今年加わった1年生たちもメカニックとして大活躍。④2位表彰台に立つのは部長の川崎君。チームのみんなに感謝を伝えました。

7月9日(日)、群馬県にある浅間サーキットでラリー耐久レース「浅間火山耐久シリーズ第3戦」が開催されました。今年も自動車整備部の皆さんが出場し軽自動車クラス2位を獲得。目標だった100周を達成し、123周を走りきりました。先輩が卒業して新年度を迎えてからは、部員の数も少し減りましたが、他の部活で活動しているメカニックが応援に来てくれるなど、自動車整備部は車好きの学生が集まってレースをやっています。今年加わった1年生の皆さんもピット作業に加わり、レースではピットインの度、先輩たちに混ざって整備作業をがんばっていました。

軟式野球部 北関東大会出場



全国軟式野球大会北関東地区埼玉県予選を突破した軟式野球部は、9月に開催された北関東大会へ進出しました。惜しくも2回戦敗退となりましたが、1回戦は小刻みに得点を重ね6-2で勝利。9回1死まではノーヒットノーランという試合展開で応援にも力が入りました! 次回はふじみ野市社会人リーグの大会で優勝を狙います。

世界の頂点を目指す! 最先端技術を体験



10月6日(金)、東京パラリンピック車いす陸上を技術で支えている集団「八千代工業」様をお迎えし、最先端技術を使用した「カーボンレーサー」やカーボンとアルミをもちいた「ハイブリッドレーサー」など、競技用車いすの開発裏話を特別に披露していただきました。また体育館ではレーサー仕様の車いすを体験できるなど、モノづくりの技術者を目指す学生に、貴重な体験をさせていただきました。

ドライビングシミュレーター レースイベント 開幕戦



①開幕戦 決勝に勝ち進んだのは5チーム15名。②優勝/自整科2年3組 関 邑介君、山田 拓馬君、松園 拓磨君 ③準優勝/自整科2年1組 阿部 尚幸君、自整科2年2組 成田 浩平君、小山 天太君 ④3位/開発科1年2組 橋本 恭輔君、研究科1年1組 今川 珠稀哉君、研究科1年2組 吉村 正弥君(決勝は不参加)

今期導入したドライビングシミュレーターを使用して、学生レースイベントが開催されました。各チーム、放課後に頑張って練習していた姿を何度も見かけていました。予選を重ねて勝ち残ったチームが決勝に望みました。決勝はスタート直後に数台が絡むクラッシュから始まりました。ピットインする度に順位が入れ替わるなど、ホンモノのレースバトルをテレビで見ているようでした。最終ドライバーがハンドルを握り、上位3チームの距離が縮まり始め、後半数LAPではテイルトゥノーズの好バトルを繰り広げるレース展開となりました。混戦状態の中、2位と3位の追い上げのプレッシャーに耐え、安定した走りを見せたチームが優勝を勝ち取りました。